

政策シート

| | | | | | | |
|--------|--------|------|----|----|----|------|
| 2026年度 | (管理番号) | | | | | 担当課名 |
| | 分野 | 基本政策 | | 政策 | | 指導課 |
| | 02 | 02 | 01 | 02 | 01 | |

| |
|---------------------|
| 政策 |
| 多様なニーズに対応した学びや支援の充実 |

政策の内容

障がいや不登校、日本語能力など、多様なニーズを有するこどもたちに対応するため、社会的包摂性の観点から、一人一人の能力・可能性を伸ばす多様な学びの場の提供や支援の充実を図ります。

生活満足度に関する指標(個別指標)

| 指標名 | 質問文 | 基準値 2024年度 | 2025 年度 | 2026 年度 | 2027 年度 | 2028 年度 | 2029 年度 |
|-----------|---|---------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 「生きる力」の習得 | あなたの暮らしている地域では、子どもが社会で生活していく上で、必要な知識や技能、社会性、体力などを身につけられる教育がされていると感じますか。 | 3.04 | 3.02 | | | | |
| | | | | | | | |

※総合計画基本計画に係る市民意識調査(アンケート)の結果

現状・課題

- ・「描く夢や未来の実現」を教育理念に掲げる第4次浜松市教育総合計画に基づき、目指すこどもの姿の具現に向け、学校・家庭、地域、行政が一体となり取組を進めている。
- ・障がいや不登校、日本語能力など、支援を必要とするこどもは増加傾向にあることから、多様な教育ニーズに対応した学習環境の提供や、相談支援体制の充実を図る必要がある。
- ・不安や悩みを抱えるこどもや保護者の心の安定を図るため、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなど、支援人材の拡充を図る必要がある。

| 政策コストの状況(千円) | 2025年度 | 2026年度 | 2027年度 | 2028年度 | 2029年度 |
|--------------|--------|---------|--------|--------|--------|
| 予算 | 53,577 | 227,644 | | | |
| 決算 | | | | | |

※「①事業活動(アクティビティ)」の予算・決算の合計

| 人工 | 2025年度 | 2026年度 | 2027年度 | 2028年度 | 2029年度 |
|-----------------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 正規職員(再任用フルタイム含む。) | 2.3 | 4.8 | | | |
| 会計年度任用職員(月額報酬の定めのある者) | 0.8 | 2.1 | | | |
| 再任用職員(31時間勤務) | 0.0 | 0.0 | | | |
| 再任用職員(26時間勤務) | 0.0 | 0.0 | | | |

①事業活動(アクティビティ)

| 事業名 | 事業内容 | 2026年度 予算 (千円) |
|--------------------|--|----------------------|
| | | 2026年度 決算 (千円) |
| 人件費 会計年度任用職員 | 1 スクールソーシャルワーカーの配置 家庭環境等の問題を抱えた児童生徒や保護者に対し、関係機関との連携調整を図り、多様な支援方法による問題の解決や状況の改善につなげるため、教育分野に関する知識に加え、社会福祉等の専門性を有するスクールソーシャルワーカーを配置する。 2 部活動指導員の配置 部活動指導の充実及び教員の多忙化解消を図るため、市立中学校に部活動顧問と同等の職務を果たせる部活動指導員を配置する。 3 校内まなびの教室支援員の配置 学校に登校はできるものの教室に入ることのできない児童生徒のため校内まなびの教室支援員を配置する。 | 104,286 |
| | | |
| 文化・スポーツ活動 奨励事業 | ・児童生徒の文化・スポーツ活動を奨励し、技術の向上を図ることを目的として、東海大会以上の文化・スポーツ大会に出場する児童生徒に激励金を交付する。 ・文化・スポーツ活動において顕著な成果をおさめた児童生徒へ表彰状を授与する。 | 15,471 |
| | | |
| 文化・スポーツ大会等 支援事業 | 大会実施経費の負担軽減のため、各文化・体育団体の実施する対象事業に交付金を交付する。 | 16,445 |
| | | |
| 不登校児童支援推進 事業 | 校内・外における「まなびの教室」の運営 校内71教室、校外11箇所の、「まなびの教室」の運営による多様な学びの場の提供。 | 84,888 |
| | | |
| 教育指導デジタル 運営経費 | 不登校デジタル支援運営業務委託 自宅にとどまっている児童生徒の孤立を防ぐため、学校復帰や社会自立のためにICTを活用した支援を実施する。 | 6,554 |
| | | |

※予算・決算は各事業に係る経費を計上

②活動(アウトプット)指標

| 指標名 | 指標の定義 | 設定理由 | | 2024年度 | 2025年度 | 2026年度 | 2027年度 | 2028年度 | 2029年度 |
|-------------------------------|------------------------------------|--|-----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| スクールソーシャルワーカーの配置(人) | 市立小中学校及び高等学校へスクールソーシャルワーカーを配置するもの。 | 配置拡充により、問題を抱えた児童生徒や保護者に対し、多様な専門家との教育相談体制の充実に寄与するものと見込んでいる。 | 目標値 | - | 22 | 26 | 配置数再検討 | 配置数再検討 | 配置数再検討 |
| | | | 実績値 | 20 | 21 | | | | |
| | | | 達成率 | - | 95.5% | | | | |
| 部活動指導員の配置(人) | 市立中学校へ部活動指導員を配置するもの。 | 専門的な技術を有する指導員の配置により、部活動指導の充実に寄与するものと見込んでいる。 | 目標値 | - | 67 | 80 | 100 | 配置数再検討 | 配置数再検討 |
| | | | 実績値 | 47 | 67 | | | | |
| | | | 達成率 | - | - | | | | |
| 校内まなびの教室の設置数(市立小中学校への教室設置数) | 市立小中学校へ校内まなびの教室を設置するもの。 | 校内への学びの教室の設置拡充により、多様な学びの場の提供に寄与するものと見込んでいる。 | 目標値 | - | 60 | 71 | 設置再検討 | 設置再検討 | 設置再検討 |
| | | | 実績値 | 50 | 60 | | | | |
| | | | 達成率 | - | 100.0% | | | | |
| 校外まなびの教室の設置数(学校以外の施設等への教室設置数) | 学校以外の施設等へ校外まなびの教室を設置するもの。 | 校外への学びの教室の設置拡充などにより、多様な学びの場の提供に寄与するものと見込んでいる。 | 目標値 | - | 11 | 11 | 設置再検討 | 設置再検討 | 設置再検討 |
| | | | 実績値 | 10 | 11 | | | | |
| | | | 達成率 | - | 100.0% | | | | |

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

③短期成果(アウトカム)指標

| 指標名 | 指標の定義 | 設定理由 | | 2024年度 | 2025年度 | 2026年度 | 2027年度 | 2028年度 | 2029年度 |
|---|---------------------------|---|-----|--------|-----------|--------|--------|--------|--------|
| スクールソーシャルワーカーの活動時間が学校のニーズにどれだけ対応できているか学校の満足度(%) | 教育委員会調査において肯定的な回答をした学校の割合 | 多様な専門家との教育相談体制の充実に向け、学校の意識を把握するものとして設定。配置人数の拡充により、子どもや保護者への支援充実に、学校が抱える課題の負担軽減につながると見込んでいる。 | 目標値 | - | 60.0 | 70.0 | 80.0 | 90.0 | 100.0 |
| | | | 実績値 | 44.4 | 2026年8月確定 | | | | |
| | | | 達成率 | - | - | | | | |
| 部活動指導員が配置されたことにより、部員への技術的な指導が充実したと回答した学校の割合(%) | 教育委員会調査において肯定的な回答をした学校の割合 | 豊かなスポーツ、文化芸術活動の実現に向け、学校の意識を把握するものとして設定。専門的な技術を有する指導員から指導を受けることで多様な才能・個性を伸ばす機会の提供につながることを見込んでいる。 | 目標値 | - | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 |
| | | | 実績値 | 100 | 2026年8月確定 | | | | |
| | | | 達成率 | - | - | | | | |

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

④長期成果(アウトカム)指標

| 指標名 | 基本計画 指標 | 指標の定義 | | 2024 年度 | 2025 年度 | 2026 年度 | 2027 年度 | 2028 年度 | 2029 年度 | 目標値 2034 年度 |
|--|------------|-------------------------------|-----|------------|---------------|------------|------------|------------|------------|-------------------|
| 将来の夢や目標をもっている子供の割合(小学校6年生)(%) | ○ | 全国学力・学習状況調査において肯定的な回答をした児童の割合 | 実績値 | 84.5 | 84.3 | | | | | 90.0 |
| | | | 達成率 | 93.9% | 93.7% | | | | | |
| 将来の夢や目標をもっている子供の割合(中学校3年生)(%) | ○ | 全国学力・学習状況調査において肯定的な回答をした生徒の割合 | 実績値 | 69.1 | 71.8 | | | | | 74.0 |
| | | | 達成率 | 93.4% | 97.0% | | | | | |
| 今住んでいる地域(市町村)が好きな子供の割合(小学校6年生・中学校3年生・高校2年生)(%) | ○ | 教育委員会調査において肯定的な回答をした児童生徒の割合 | 実績値 | 93.8 | 2026年 8月確定 | | | | | 維持 |
| | | | 達成率 | 100.0% | - | | | | | |

※達成率は2034年度の目標値に対する実績値から算出する。

⑤目的:10年後(2034年)の理想の姿

・子どもたちは、自分らしさを大切にし、描く夢や未来の実現に向けて、互いを尊重し合い、他者と協働したり、自己調整したりしながら粘り強く取り組んでいる。
 ・学校、家庭、地域、企業など社会全体が連携して一人ひとりの子どもを育み、子どもたちは地域への愛着や誇りを持っている。

【2026年度の評価】

「①事業活動(アクティビティ)」の実施内容と事業改善(2027年度記載)

| 事業名 | 実施内容 | 事業改善の内容や今後の方向性 |
|-----|---|----------------|
| | | |
| | | |
| | <div data-bbox="432 741 920 831" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">評価時に記載</div> | |
| | | |
| | | |

「②活動(アウトプット)指標」の分析・評価と指標見直しの要否(2027年度記載)

| 指標見直しの要否 |
|---|
| <div data-bbox="467 1469 956 1559" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">評価時に記載</div> |

「③短期成果(アウトカム)指標」の分析・評価と指標見直しの要否(2027年度記載)

| | |
|----------|--|
| 指標見直しの要否 | |
|----------|--|

評価時に記載

2026年度の政策の評価と2027年度以降の取組の方向性(2027年度記載)

評価時に記載

政策シート

| | | | | | | |
|--------|--------|------|----|----|----|-------|
| 2026年度 | (管理番号) | | | | | 担当課名 |
| | 分野 | 基本政策 | | 政策 | | 教育支援課 |
| | 02 | 02 | 01 | 02 | 02 | |

| |
|---------------------|
| 政策 |
| 多様なニーズに対応した学びや支援の充実 |

政策の内容

障がいや不登校、日本語能力など、多様なニーズを有することもたちに対応するため、社会的包摂性の観点から、一人一人の能力・可能性を伸ばす多様な学びの場の提供や支援の充実を図ります。

生活満足度に関する指標(個別指標)

| 指標名 | 質問文 | 基準値 2024年度 | 2025 年度 | 2026 年度 | 2027 年度 | 2028 年度 | 2029 年度 |
|---------------|---|---------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 「生きる力」の 習得 | あなたの暮らしている地域では、子どもが社会で生活していく上で、必要な知識や技能、社会性、体力などを身につけられる教育がされていると感じますか。 | 3.04 | 3.02 | | | | |
| | | | | | | | |

※総合計画基本計画に係る市民意識調査(アンケート)の結果

現状・課題

- ・「描く夢や未来の実現」を教育理念に掲げる第4次浜松市教育総合計画に基づき、目指すこどもの姿の具現に向け、学校・家庭、地域、行政が一体となり取組を進めている。
- ・障がいや不登校、日本語能力など、支援を必要とするこどもは増加傾向にあることから、多様な教育ニーズに対応した学習環境の提供や、相談支援体制の充実を図る必要がある。
- ・不安や悩みを抱えるこどもや保護者の心の安定を図るため、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなど、支援人材の拡充を図る必要がある。

| 政策コストの状況(千円) | 2025年度 | 2026年度 | 2027年度 | 2028年度 | 2029年度 |
|--------------|---------|--------|--------|--------|--------|
| 予算 | 165,546 | 66,492 | | | |
| 決算 | | | | | |

※「①事業活動(アクティビティ)」の予算・決算の合計

| 人工 | 2025年度 | 2026年度 | 2027年度 | 2028年度 | 2029年度 |
|-----------------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 正規職員(再任用フルタイム含む。) | 13.1 | 10.1 | | | |
| 会計年度任用職員(月額報酬の定めのある者) | 17.8 | 16.0 | | | |
| 再任用職員(31時間勤務) | 7.0 | 8.0 | | | |
| 再任用職員(26時間勤務) | 0.0 | 0.0 | | | |

①事業活動(アクティビティ)

| 事業名 | 事業内容 | 2026年度 予算 (千円) |
|---------------|---|----------------------|
| | | 2026年度 決算 (千円) |
| 発達支援教育推進事業 | 1 就学支援の実施 幼児専門調査や就学相談等を実施し、子供の状況に応じて適切な就学支援を行う。 2 発達支援教育の推進(発達支援学級・発達支援教室) 発達支援学級において、特別な支援を必要とする児童生徒へのきめ細かな支援を行う。 また、通常の学級に在籍する特別な支援を必要とする児童生徒を発達支援教室において支援を行う。 3 通級指導教室 通常の学級に在籍している特別な支援が必要な児童生徒に対して学習面又は生活面における困難さを改善・克服に向けた指導を行う。 4 就学相談員の配置 新学齢児を対象とした「専門調査(園訪問)」および「就学先教育相談」を行う就学相談員の配置により、充実した就学支援体制を整備する。 5 医療的ケアの実施 学校における医療的ケア及び対象児童生徒の日常生活の指導補助等を行う。 6 インクルーシブ教育システムの構築 合理的配慮の充実に向けた作業療法士、言語聴覚士による巡回指導、学校経営スーパーバイザーによる指導・助言を行う。 | 14,510 |
| | | |
| 外国人子供教育支援推進事業 | 1 日本語指導及び母国語支援の実施 日本語能力に応じた日本語基礎指導や学習支援の充実を図る。 2 進路支援の実施 外国人児童生徒の進学・進路に対する支援を行う。 3 支援者研修等 きめ細かな指導・支援を実施するため、支援者に対する研修を実施。 | 40,113 |
| | | |
| 教育相談推進事業 | 1 Webを活用した相談及びいじめ電話相談夜間休日対応 児童生徒を対象としたチャット相談、またWebを用いた相談体制の構築。 2 スクールカウンセリングの実施 いじめや不登校当の児童生徒の問題行動当に対応することを目的とした児童生徒へのカウンセリング等の実施。 | 11,869 |
| | | |

※予算・決算は各事業に係る経費を計上

②活動(アウトプット)指標

| 指標名 | 指標の定義 | 設定理由 | | 2024年度 | 2025年度 | 2026年度 | 2027年度 | 2028年度 | 2029年度 |
|------------------|---------------------------------|--|-----|--------|-----------|--------|--------|--------|--------|
| スクールカウンセラーの配置(%) | 市立小中学校及び高等学校へスクールカウンセラーを配置するもの。 | 配置拡充により、多様な専門家との教育相談体制の充実に寄与するものと見込んでいる。 | 目標値 | - | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 |
| | | | 実績値 | 84.0 | 2026年5月確定 | | | | |
| | | | 達成率 | - | - | | | | |
| 発達支援学級の設置率(%) | 市立小中学校へ発達支援学級を設置するもの。 | 発達支援学級の設置拡充により、教育的ニーズに配慮した学習環境の提供に寄与するものと見込んでいる。 | 目標値 | - | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 |
| | | | 実績値 | 84.0 | 2026年5月確定 | | | | |
| | | | 達成率 | - | - | | | | |
| 初期日本語拠点校への通級数(%) | 対象となる児童生徒の初期日本語指導拠点校への通級率。 | 拠点校への通級により、日本語指導が必要な外国人児童生徒等への指導体制の充実に寄与するものと見込んでいる。 | 目標値 | - | 92.0 | 94.0 | 96.0 | 98.0 | 100.0 |
| | | | 実績値 | 90.0 | 2026年5月確定 | | | | |
| | | | 達成率 | - | - | | | | |

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

③短期成果(アウトカム)指標

| 指標名 | 指標の定義 | 設定理由 | | 2024年度 | 2025年度 | 2026年度 | 2027年度 | 2028年度 | 2029年度 |
|--|---------------------------|---|-----|--------|-----------|--------|--------|--------|--------|
| スクールカウンセラーの活動時間が学校のニーズにどれだけ対応できているか学校の満足度(%) | 教育委員会調査において肯定的な回答をした学校の割合 | 多様な専門家との教育相談体制の充実に向け、学校の意識を把握するものとして設定。配置人数の拡充により、こどもや保護者への支援充実と、学校が抱える課題の負担軽減につながると見込んでいる。 | 目標値 | - | 40.0 | 50.0 | 70.0 | 85.0 | 100.0 |
| | | | 実績値 | 38.9 | 2026年8月確定 | | | | |
| | | | 達成率 | - | - | | | | |

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

③短期成果(アウトカム)指標

| 指標名 | 指標の定義 | 設定理由 | | 2024年度 | 2025年度 | 2026年度 | 2027年度 | 2028年度 | 2029年度 |
|--|-------------------------------------|--|-----|--------|-----------|--------|--------|--------|--------|
| 家庭や学校以外で、悩みや困りごとなどを相談できる場所があることを知っている児童の割合(%) | 教育委員会調査において肯定的な回答をした学校の割合 | 多様な専門家との教育相談体制の充実に向け、児童の意識を把握するものとして設定。相談場所の周知などにより、こどもや保護者への支援充実と、学校が抱える課題の負担軽減につながると見込んでいる。 | 目標値 | - | 68.0 | 70.0 | 73.0 | 76.0 | 80.0 |
| | | | 実績値 | 66.1 | 2026年8月確定 | | | | |
| | | | 達成率 | - | - | | | | |
| 困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できると回答した児童生徒の割合(個別の支援計画作成児童生徒)(%) | 全国学力・学習状況調査における本市数値と全国数値を比較するもの。 | 多様な専門家との教育相談体制の充実に向け、児童の意識を把握するものとして設定。相談場所の周知などにより、こどもや保護者への支援充実と、学校が抱える課題の負担軽減につながると見込んでいる。 | 目標値 | - | 72.0 | 74.0 | 76.0 | 78.0 | 80.0 |
| | | | 実績値 | 71.2 | 2026年8月確定 | | | | |
| | | | 達成率 | - | - | | | | |
| 困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できると回答した児童生徒の割合(外国人児童生徒)(%) | 全国学力・学習状況調査における本市数値と全国数値を比較するもの。 | 多様な専門家との教育相談体制の充実に向け、児童の意識を把握するものとして設定。相談場所の周知などにより、こどもや保護者への支援充実と、学校が抱える課題の負担軽減につながると見込んでいる。 | 目標値 | - | 73.0 | 75.0 | 77.0 | 79.0 | 80.0 |
| | | | 実績値 | 72.4 | 2026年8月確定 | | | | |
| | | | 達成率 | - | - | | | | |
| 日本語指導が必要な児童生徒等の「特別な教育課程」の実施を希望する学校における実施率(%) | 教育委員会調査において「特別な教育課程」を実施したと回答した学校の割合 | 外国につながるこどもの学びや支援の充実に向け、「特別な教育課程」の実施を把握するものとして設定。実施により、日本語指導が必要な外国人児童生徒の日本語能力の向上や学力の定着などにつながることを見込んでいる。 | 目標値 | - | 73.0 | 75.0 | 77.0 | 79.0 | 80.0 |
| | | | 実績値 | 75.5 | 2026年8月確定 | | | | |
| | | | 達成率 | - | - | | | | |

※達成率は該年度の目標値に対する実績値から算出する。

④長期成果(アウトカム)指標

| 指標名 | 基本計画指標 | 指標の定義 | | 2024年度 | 2025年度 | 2026年度 | 2027年度 | 2028年度 | 2029年度 | 目標値 2034年度 |
|--|--------|-------------------------------|-----|--------|---------------|--------|--------|--------|--------|---------------|
| 将来の夢や目標をもっている子供の割合(小学校6年生)(%) | ○ | 全国学力・学習状況調査において肯定的な回答をした児童の割合 | 実績値 | 84.5 | 84.3 | | | | | 90.0 |
| | | | 達成率 | 93.9% | 93.7% | | | | | |
| 将来の夢や目標をもっている子供の割合(中学校3年生)(%) | ○ | 全国学力・学習状況調査において肯定的な回答をした生徒の割合 | 実績値 | 69.1 | 71.8 | | | | | 74.0 |
| | | | 達成率 | 93.4% | 97.0% | | | | | |
| 今住んでいる地域(市町村)が好きな子供の割合(小学校6年生・中学校3年生・高校2年生)(%) | ○ | 教育委員会調査において肯定的な回答をした児童生徒の割合 | 実績値 | 93.8 | 2026年 8月確定 | | | | | 維持 |
| | | | 達成率 | 100.0% | - | | | | | |

※達成率は2034年度の目標値に対する実績値から算出する。

⑤目的:10年後(2034年)の理想の姿

・こどもたちは、自分らしさを大切に、描く夢や未来の実現に向けて、互いを尊重し合い、他者と協働したり、自己調整したりしながら粘り強く取り組んでいる。
 ・学校、家庭、地域、企業など社会全体が連携して一人ひとりのこどもを育み、こどもたちは地域への愛着や誇りを持っている。

【2026年度の評価】

「①事業活動(アクティビティ)」の実施内容と事業改善(2027年度記載)

| 事業名 | 実施内容 | 事業改善の内容や今後の方向性 |
|-----|--------|----------------|
| | | |
| | | |
| | 評価時に記載 | |
| | | |
| | | |

「②活動(アウトプット)指標」の分析・評価と指標見直しの要否(2027年度記載)

| 指標見直しの要否 | |
|----------|--------|
| | 評価時に記載 |

「③短期成果(アウトカム)指標」の分析・評価と指標見直しの要否(2027年度記載)

| | |
|----------|--|
| 指標見直しの要否 | |
|----------|--|

評価時に記載

2026年度の政策の評価と2027年度以降の取組の方向性(2027年度記載)

評価時に記載

政策シート

| | | | | | | |
|--------|--------|------|----|----|----|------|
| 2026年度 | (管理番号) | | | | | 担当課名 |
| | 分野 | 基本政策 | | 政策 | | 教職員課 |
| | 02 | 02 | 01 | 02 | 03 | |

| |
|---------------------|
| 政策 |
| 多様なニーズに対応した学びや支援の充実 |

政策の内容

障がいや不登校、日本語能力など、多様なニーズを有することもたちに対応するため、社会的包摂性の観点から、一人一人の能力・可能性を伸ばす多様な学びの場の提供や支援の充実を図ります。

生活満足度に関する指標(個別指標)

| 指標名 | 質問文 | 基準値 2024年度 | 2025 年度 | 2026 年度 | 2027 年度 | 2028 年度 | 2029 年度 |
|---------------|---|---------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 「生きる力」の 習得 | あなたの暮らしている地域では、子どもが社会で生活していく上で、必要な知識や技能、社会性、体力などを身につけられる教育がされていると感じますか。 | 3.04 | 3.02 | | | | |
| | | | | | | | |

※総合計画基本計画に係る市民意識調査(アンケート)の結果

現状・課題

- ・「描く夢や未来の実現」を教育理念に掲げる第4次浜松市教育総合計画に基づき、目指すこどもの姿の具現に向け、学校・家庭、地域、行政が一体となり取組を進めている。
- ・障がいや不登校、日本語能力など、支援を必要とするこどもは増加傾向にあることから、多様な教育ニーズに対応した学習環境の提供や、相談支援体制の充実を図る必要がある。
- ・不安や悩みを抱えるこどもや保護者の心の安定を図るため、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなど、支援人材の拡充を図る必要がある。

| 政策コストの状況(千円) | 2025年度 | 2026年度 | 2027年度 | 2028年度 | 2029年度 |
|--------------|-----------|-----------|--------|--------|--------|
| 予算 | 1,183,424 | 1,183,424 | | | |
| 決算 | | | | | |

※「①事業活動(アクティビティ)」の予算・決算の合計

| 人工 | 2025年度 | 2026年度 | 2027年度 | 2028年度 | 2029年度 |
|-----------------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 正規職員(再任用フルタイム含む。) | 11.0 | 12.0 | | | |
| 会計年度任用職員(月額報酬の定めのある者) | 1.0 | 2.0 | | | |
| 再任用職員(31時間勤務) | 0.0 | 1.0 | | | |
| 再任用職員(26時間勤務) | 0.0 | 0.0 | | | |

①事業活動(アクティビティ)

| 事業名 | 事業内容 | 2026年度 予算 (千円) |
|---------------------|---|----------------------|
| | | 2026年度 決算 (千円) |
| 人件費 会計年度任用職 員 | 小学校に会計年度任用職員を配置する。 1 非常勤講師等 国庫負担非常勤講師(国負担1/3)、国庫補助非常勤講師等(国補助1/3) 市単非常勤講師等 2 パート給食員等 パート給食員、臨時給食員 3 発達支援教室支援員等 発達支援教室支援員、スクールヘルパー 4 学校教育指導支援員等 図書館補助員、学習支援員、複式学級支援員、生徒指導支援員、養護教諭補助員 | 806,183 |
| | | |
| 人件費 会計年度任用職 員 | 中学校に会計年度任用職員を配置する。 1 非常勤講師等 国庫負担非常勤講師(国負担1/3)、国庫補助非常勤講師等(国補助1/3) 市単非常勤講師等 2 パート給食員等 パート給食員、臨時給食員 3 発達支援教室支援員等 発達支援教室支援員、スクールヘルパー 4 学校教育指導支援員等 学校図書館補助員、生徒指導支援員、養護教諭補助員 | 377,241 |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

※予算・決算は各事業に係る経費を計上

②活動(アウトプット)指標

| 指標名 | 指標の定義 | 設定理由 | | 2024年度 | 2025年度 | 2026年度 | 2027年度 | 2028年度 | 2029年度 |
|-----------------|---------------------------|--|-----|--------|--------|----------|----------|----------|----------|
| 発達支援教室支援員の配置(人) | 市立小中学校への発達支援教室支援員を配置するもの。 | 発達支援教室支援員の配置拡充により、支援を必要とする子どもへの学びや支援の充実に寄与するものと見込んでいる。 | 目標値 | - | 122 | 基準に基づく配置 | 基準に基づく配置 | 基準に基づく配置 | 基準に基づく配置 |
| | | | 実績値 | 117 | 121 | | | | |
| | | | 達成率 | - | 99% | | | | |
| スクールヘルパーの配置(人) | 市立小中学校へスクールヘルパーを配置するもの。 | スクールヘルパーの配置拡充により、支援を必要とする子どもへの学びや支援の充実に寄与するものと見込んでいる。 | 目標値 | - | 157 | 基準に基づく配置 | 基準に基づく配置 | 基準に基づく配置 | 基準に基づく配置 |
| | | | 実績値 | 152 | 158 | | | | |
| | | | 達成率 | - | 101% | | | | |
| | | | 目標値 | - | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | | |
| | | | 達成率 | - | | | | | |

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

③短期成果(アウトカム)指標

| 指標名 | 指標の定義 | 設定理由 | | 2024年度 | 2025年度 | 2026年度 | 2027年度 | 2028年度 | 2029年度 |
|----------------------|-------------------------------|--|-----|--------|-----------|--------|--------|--------|--------|
| 発達支援学級を経験した教職員の割合(%) | 教育委員会調査における、発達支援学級を経験した教職員の割合 | 支援を必要とする子どもへの学びや支援の充実に向け、発達支援学級の経験について把握するために設定。多くの教職員が経験をすることで、多様なニーズに対応した学び舎支援の充実につながることを見込んでいる。 | 目標値 | - | 71.0 | 73.0 | 76.0 | 78.0 | 80.0 |
| | | | 実績値 | 69.2 | 2026年8月確定 | | | | |
| | | | 達成率 | - | - | | | | |
| | | | 目標値 | - | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | | |
| | | | 達成率 | - | | | | | |

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

④長期成果(アウトカム)指標

| 指標名 | 基本計画指標 | 指標の定義 | | 2024年度 | 2025年度 | 2026年度 | 2027年度 | 2028年度 | 2029年度 | 目標値 2034年度 |
|---|--------|-------------------------------|-----|--------|---------------|--------|--------|--------|--------|---------------|
| 将来の夢や目標をもっている子供の割合(小学校6年生)(単位:%) | ○ | 全国学力・学習状況調査において肯定的な回答をした児童の割合 | 実績値 | 84.5 | 84.3 | | | | | 90.0 |
| | | | 達成率 | 93.9% | 93.7% | | | | | |
| 将来の夢や目標をもっている子供の割合(中学校3年生)(単位:%) | ○ | 全国学力・学習状況調査において肯定的な回答をした生徒の割合 | 実績値 | 69.1 | 71.8 | | | | | 74.0 |
| | | | 達成率 | 93.4% | 97.0% | | | | | |
| 今住んでいる地域(市町村)が好きな子供の割合(小学校6年生・中学校3年生・高校2年生)(単位:%) | ○ | 教育委員会調査において肯定的な回答をした児童生徒の割合 | 実績値 | 93.8 | 2026年 8月確定 | | | | | 維持 |
| | | | 達成率 | 100.0% | - | | | | | |

※達成率は2034年度の目標値に対する実績値から算出する。

⑤目的:10年後(2034年)の理想の姿

・こどもたちは、自分らしさを大切に、描く夢や未来の実現に向けて、互いを尊重し合い、他者と協働したり、自己調整したりしながら粘り強く取り組んでいる。
 ・学校、家庭、地域、企業など社会全体が連携して一人ひとりのこどもを育み、こどもたちは地域への愛着や誇りを持っている。

【2026年度の評価】

「①事業活動(アクティビティ)」の実施内容と事業改善(2027年度記載)

| 事業名 | 実施内容 | 事業改善の内容や今後の方向性 |
|-----|---|----------------|
| | | |
| | | |
| | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">評価時に記載</div> | |
| | | |
| | | |

「②活動(アウトプット)指標」の分析・評価と指標見直しの要否(2027年度記載)

| 指標見直しの要否 | |
|----------|---|
| | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">評価時に記載</div> |

「③短期成果(アウトカム)指標」の分析・評価と指標見直しの要否(2027年度記載)

| | |
|----------|--|
| 指標見直しの要否 | |
|----------|--|

評価時に記載

2026年度の政策の評価と2027年度以降の取組の方向性(2027年度記載)

評価時に記載

政策シート

| | | | | | | |
|--------|--------|------|----|----|----|-------|
| 2026年度 | (管理番号) | | | | | 担当課名 |
| | 分野 | 基本政策 | | 政策 | | 教育総務課 |
| | 02 | 02 | 01 | 02 | 04 | |

| |
|---------------------|
| 政策 |
| 多様なニーズに対応した学びや支援の充実 |

政策の内容

障がいや不登校、日本語能力など、多様なニーズを有することもたちに対応するため、社会的包摂性の観点から、一人一人の能力・可能性を伸ばす多様な学びの場の提供や支援の充実を図ります。

生活満足度に関する指標(個別指標)

| 指標名 | 質問文 | 基準値 2024年度 | 2025 年度 | 2026 年度 | 2027 年度 | 2028 年度 | 2029 年度 |
|---------------|---|---------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 「生きる力」の 習得 | あなたの暮らしている地域では、子どもが社会で生活していく上で、必要な知識や技能、社会性、体力などを身につけられる教育がされていると感じますか。 | 3.04 | 3.02 | | | | |
| | | | | | | | |

※総合計画基本計画に係る市民意識調査(アンケート)の結果

現状・課題

- ・「描く夢や未来の実現」を教育理念に掲げる第4次浜松市教育総合計画に基づき、目指すこどもの姿の具現に向け、学校・家庭、地域、行政が一体となり取組を進めている。
- ・障がいや不登校、日本語能力など、支援を必要とするこどもは増加傾向にあることから、多様な教育ニーズに対応した学習環境の提供や、相談支援体制の充実を図る必要がある。
- ・不安や悩みを抱えるこどもや保護者の心の安定を図るため、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなど、支援人材の拡充を図る必要がある。

| 政策コストの状況(千円) | 2025年度 | 2026年度 | 2027年度 | 2028年度 | 2029年度 |
|--------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 予算 | - | 244 | | | |
| 決算 | - | | | | |

※「①事業活動(アクティビティ)」の予算・決算の合計

| 人工 | 2025年度 | 2026年度 | 2027年度 | 2028年度 | 2029年度 |
|-----------------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 正規職員(再任用フルタイム含む。) | - | 0.6 | | | |
| 会計年度任用職員(月額報酬の定めのある者) | - | 0.0 | | | |
| 再任用職員(31時間勤務) | - | 0.0 | | | |
| 再任用職員(26時間勤務) | - | 0.0 | | | |

①事業活動(アクティビティ)

| 事業名 | 事業内容 | 2026年度 予算 (千円) |
|------------|--|----------------------|
| | | 2026年度 決算 (千円) |
| 教育総合計画推進事業 | 1 学びの多様化学校設置に係る有識者会議の開催 ・不登校児童生徒が安心して学校生活を送り、一人一人の実態に合わせた柔軟な教育を提供する「学びの多様化学校」の設置に向けて有識者会議を設置し、本市における学びの多様化学校の目指す姿等について、各分野の立場から意見を聴取する。 | 244 |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

※予算・決算は各事業に係る経費を計上

②活動(アウトプット)指標

| 指標名 | 指標の定義 | 設定理由 | | 2024年度 | 2025年度 | 2026年度 | 2027年度 | 2028年度 | 2029年度 |
|--------------------------|-----------------------------|---|-----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 学びの多様化学校設置に係る有識者会議の開催(回) | 学びの多様化学校設置に向けて有識者会議を開催するもの。 | 学びの多様化学校の設置に向けた協議は、不登校生徒の多様な学びの場の確保に寄与するものと見込んでいる。 ※有識者会議の開催は2026年度のみを想定 | 目標値 | - | - | 3 | - | - | - |
| | | | 実績値 | - | - | | - | - | - |
| | | | 達成率 | - | - | | | | |
| | | | 目標値 | | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | | |
| | | | 達成率 | - | | | | | |
| | | | 目標値 | - | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | | |
| | | | 達成率 | - | | | | | |

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

③短期成果(アウトカム)指標

| 指標名 | 指標の定義 | 設定理由 | | 2024年度 | 2025年度 | 2026年度 | 2027年度 | 2028年度 | 2029年度 |
|-------------|--------------------|--|-----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 学びの多様化学校の開校 | 学びの多様化学校の開校に向けた準備等 | 学びの多様化学校の開校は、不登校生徒の多様な学びの場の確保につながることを見込んでいる。 | 目標値 | - | - | 開校準備 | 開校準備 | 開校 | - |
| | | | 実績値 | - | - | | | | |
| | | | 達成率 | - | - | | | | |
| | | | 目標値 | - | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | | |
| | | | 達成率 | - | | | | | |

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

④長期成果(アウトカム)指標

| 指標名 | 基本計画指標 | 指標の定義 | | 2024年度 | 2025年度 | 2026年度 | 2027年度 | 2028年度 | 2029年度 | 目標値 2034年度 |
|---|--------|-------------------------------|-----|--------|---------------|--------|--------|--------|--------|---------------|
| 将来の夢や目標をもっている子供の割合(小学校6年生)(単位:%) | ○ | 全国学力・学習状況調査において肯定的な回答をした児童の割合 | 実績値 | 84.5 | 84.3 | | | | | 90.0 |
| | | | 達成率 | 93.9% | 93.7% | | | | | |
| 将来の夢や目標をもっている子供の割合(中学校3年生)(単位:%) | ○ | 全国学力・学習状況調査において肯定的な回答をした生徒の割合 | 実績値 | 69.1 | 71.8 | | | | | 74.0 |
| | | | 達成率 | 93.4% | 97.0% | | | | | |
| 今住んでいる地域(市町村)が好きな子供の割合(小学校6年生・中学校3年生・高校2年生)(単位:%) | ○ | 教育委員会調査において肯定的な回答をした児童生徒の割合 | 実績値 | 93.8 | 2026年 8月確定 | | | | | 維持 |
| | | | 達成率 | 100.0% | - | | | | | |

※達成率は2034年度の目標値に対する実績値から算出する。

⑤目的:10年後(2034年)の理想の姿

・こどもたちは、自分らしさを大切に、描く夢や未来の実現に向けて、互いを尊重し合い、他者と協働したり、自己調整したりしながら粘り強く取り組んでいる。
 ・学校、家庭、地域、企業など社会全体が連携して一人ひとりのこどもを育み、こどもたちは地域への愛着や誇りを持っている。

【2026年度の評価】

「①事業活動(アクティビティ)」の実施内容と事業改善(2027年度記載)

| 事業名 | 実施内容 | 事業改善の内容や今後の方向性 |
|-----|---|----------------|
| | | |
| | | |
| | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">評価時に記載</div> | |
| | | |
| | | |

「②活動(アウトプット)指標」の分析・評価と指標見直しの要否(2027年度記載)

| 指標見直しの要否 | |
|----------|---|
| | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">評価時に記載</div> |

「③短期成果(アウトカム)指標」の分析・評価と指標見直しの要否(2027年度記載)

| | |
|----------|--|
| 指標見直しの要否 | |
|----------|--|

評価時に記載

2026年度の政策の評価と2027年度以降の取組の方向性(2027年度記載)

評価時に記載